夏の畑

梅雨が明けると、とたんに陽射しが強くなり、畑は濃い緑に覆われます。きゅうり、おくら、なす、トマトなど、成長の早い夏野菜たちがつぎつぎと実をつけるまで、あともうひと息。水分を多く含んでいる朝のうちに収穫すると、みずみずしさが味わえるのだそう。

無農薬の畑では、雑草管理がいちばんの大仕事。几帳面な主人は、友人から「A型の畑」と評されるくらいに、コツコツと時間をかけて手入れをしています。ふと見ると、かぼちゃの実がいい具合に育っていました。地面に接していると虫にくわれたり、傷んだりするため、実の下にシートを敷いています。コロンとした姿が、まるでお昼寝をしているみたいに気持ち良さそうです。

（写真右上から時計回りに）ピーマン、ミニトマト、赤唐辛子、かぼちゃが、かわいく実をつけて。夏の畑はうっそうとしています。